

m.

That's Mine. It's Mine

GEO協議会だより

編集・発行：Mine 秋吉台ジオパーク推進協議会事務局

防災ジオカフェ×郵便局

11月17日、地元を知りつくすプロフェッショナル、郵便局長によるジオカフェを開催しました。各地域の危険箇所を確認し、いざというときの避難行動についての話し合いや、非常食の試食もあり、楽しく防災について学びました。

災害は他人事ではなく、明日は我が身であり、日頃からの備えがとても大切だということを体感する機会となりました。防災士でもある郵便局長さんたち、頼りになります★

今回は秋芳地域に特化し、秋吉公民館で開催しました。今後、色々な地域にも出向き防災ジオカフェを展開していきたいと思ひます。



秋吉郵便局長



グループワークの様子



安全確保行動訓練(シェイクアウト訓練)



防災グッズの紹介

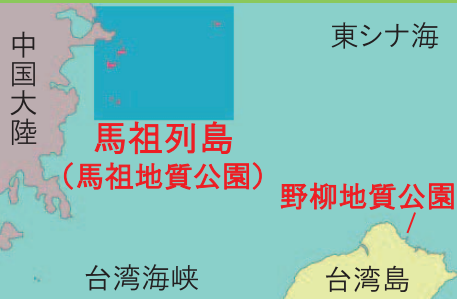


台湾の馬祖地質公園と美祿市観光協会が協定を締結しました！



馬祖地質公園は、中国大陸沿岸に位置する馬祖島(馬祖列島)をエリアとし、離島独特の文化、特に戦時遺構が多く見られます。馬祖島は、第2次世界大戦後に中国国内で国共内戦が起きたことで、突如として軍事拠点となりました。幸いにも戦場にはならなかったため、現在でも戦時遺構はもちろん、貴重な自然・文化遺産を見て楽しむことができます。

協定の締結は、同じく台湾の野柳地質公園を管理する新空間國際股份有限公司との協定に続いて2件目です。今回の協定も、Mine秋吉台ジオパークと馬祖地質公園のジオパークとしての魅力を高め合うことが目的の一つです。まずは、ビジターセンター等での互いの紹介や、イベント等でのインターネットを用いた映像の生中継で交流を深めていきたいと考えています。



11月26日(火)に台湾の馬祖地質公園において、(一社)美祿市観光協会と馬祖地質公園協会が観光交流・学术交流促進に関する協定を締結しました。

地図引用：
https://upload.wikimedia.org/wikipedia/commons/1/1b/Taiwan_ROC_political_division_map_Lienchiang_County.svg

Ai Fujimori Live&Talk in 秋吉台

藤森愛さんは、名古屋在住のシンガーソングライターで、いつか秋吉台でライブをしたいと思ひ続けていたそうです。今回、カルスターの館内でライブとトークを行いました。歌声もさることながら、ジオガイドとのトークでは、ジオパークについての数多くの質問を受け、ガイドが答える形でとても盛り上がりました。



ジオパークについてのトークタイム



2019.Nov.30

条件が悪いからこそ、ゴボウは美味しくなる！

美東町赤郷で生産される「美東ごぼう」は、高級品にも関わらず人気は上々だ。農水省の地理的表示(GI)保護制度に登録(全国で89品)、地域の伝統的名産品として正式に認められたのは最近だが、実は江戸時代から大田郷、赤郷のゴボウは有名だったらしい。幕末には大田村、長登村を中心に10ヘクタール以上で栽培していた記録があるとか。

そのなかで、赤郷だけが有名になった格好だが、土がゴボウに向いていたのだろうか。一般にゴボウは、栄養に富んで水はけのよい、弱酸性の柔らかい土が栽培に向いていると言われる。

美東ごぼうの栽培地は、秋吉台のドリネや周辺地で、台上の赤みを帯びた土と同じ粘土質で、栄養に乏しくて水はけが悪く、強酸性で固い…、まるで反対の土だ。長い間、石灰を入れて酸性をやわらげ、堆肥や台上の草をすきこむなど、土地改良に努めてきたが、水はけの悪さと固さは今も残っている。その固さはニンジンが栽培できないほどで、収穫も重機に頼っている。

しかし、この条件の悪さが、おいしいゴボウを作るのだそうだ。「固い土の中でじっくり育つことで、きめ細かく、うまみを閉じ込めたゴボウになる」げな。条件の悪さを逆手にとって、苦労と工夫で名産品を育てた先人はスゴイ！



ジオフェス2019 秋吉台フォトコンテスト

10月22日のジオフェスの中で「目の前に広がる風景を見て地球の記憶をたどる…」というコンセプトで、オリジナルのフォトフレームを使ったインスタグラムによるフォトコンテストを行いました。

今号では入選された5作品を紹介します。



インスタグラムでは、ジオパークや秋吉台の最新情報を発信していますので、是非フォローしてください。よろしくお願いします☆

